

## 9.13 自然とのふれあいの場

### 9.13.1 調査

#### (1) 調査内容

工事中の建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事、供用後のごみ処理施設及び付帯施設の存在・稼働による自然とのふれあいの場への影響を予測・評価するために、以下の項目について調査した。

#### (a) 自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等

自然とのふれあいの場の分布及び利用範囲、構成要素(自然、利用施設)の内容・特性、背景となる周辺環境の状況を調査した。

#### (b) 自然とのふれあいの場の利用状況

自然とのふれあいの場の活動のタイプ、活動場所、活動に使用する資源、活動時間帯、活動季節、活動頻度、利用者数、利用方法を調査した。

#### (c) 自然とのふれあいの場への交通手段の状況

自然とのふれあいの場への主な交通手段、交通手段の経路周辺の環境条件を調査した。

#### (d) その他の予測・評価に必要な事項

周辺地域の土地利用の状況、交通網の状況について調査した。

#### (2) 調査方法

##### (a) 既存資料調査

自然とのふれあいの場の分布、利用状況、自然とのふれあいの場への主な交通手段、周辺地域の土地利用の状況及び交通網の状況については、観光パンフレットや地形図等の資料を整理した。

##### (b) 現地調査

自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等及び自然とのふれあいの場の利用状況については、現地踏査及び現地調査により確認し、記録・整理した。

### (3) 調査地域・地点

#### (a) 既存資料調査

調査地域は、計画地周辺 3km 程度の範囲を基本とした。

#### (b) 現地調査

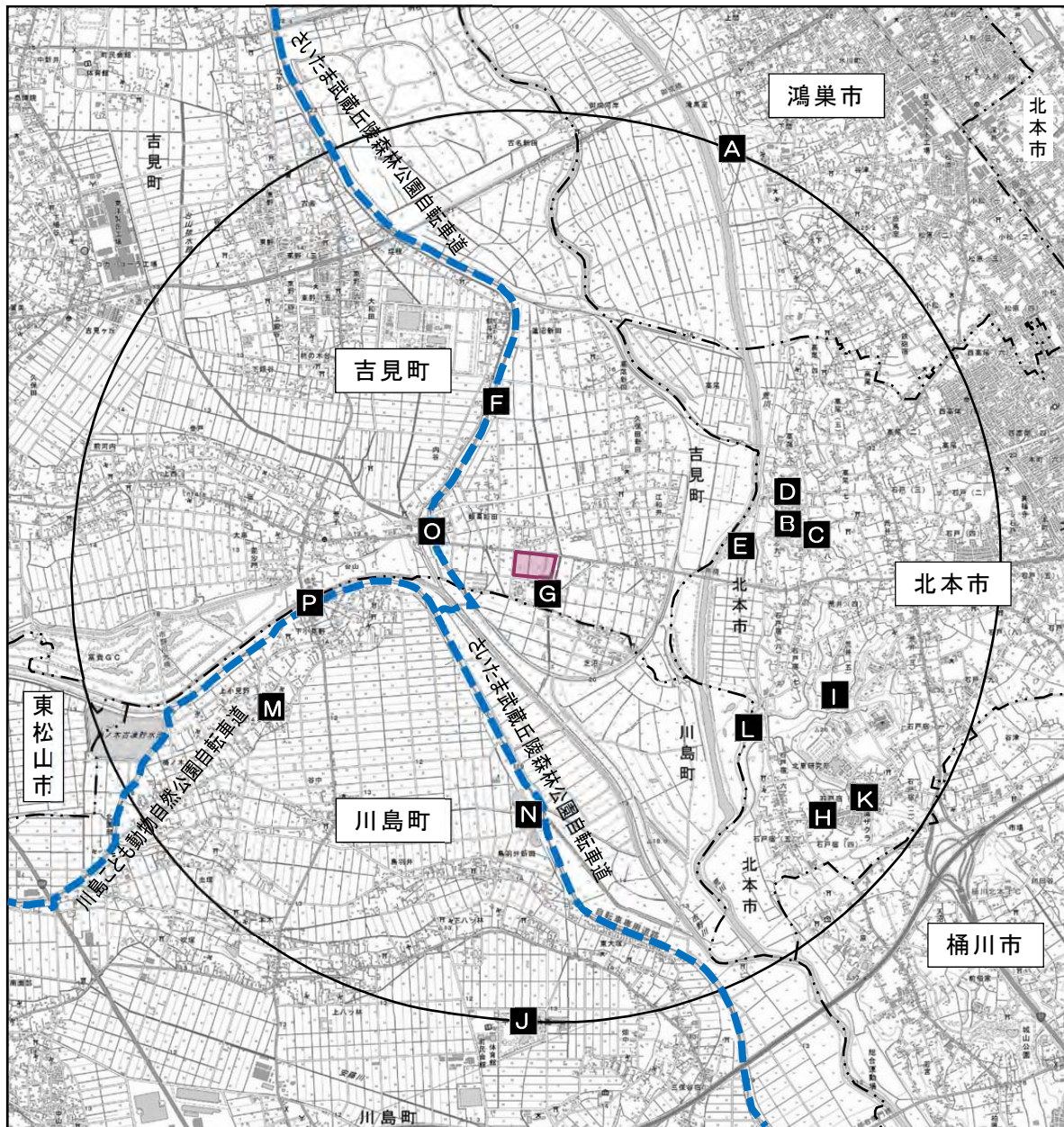
調査地域は、計画地周辺 3km 程度の範囲を基本とした。

調査地点は、調査地域において自然とのふれあいの場への影響の予測・評価に必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とし、既存資料調査及び現地踏査により調査地域内に分布する本事業の実施に伴い直接または間接的な影響を受ける自然とのふれあいの場となる場所を抽出して調査した。

自然とのふれあいの場の調査地点は、不特定多数の人により利用または活用される施設等の付近として、表 9.13-1 及び図 9.13-1 に示すとおりである。

表 9.13-1 自然とのふれあいの場の調査地点

記号	地点名	計画地敷地境界までの最短距離	計画地からの調査地点の方向	自然とのふれあいの場の概要
A	ポピーハッピースクエア	約 3,050m	北北東	計画地北北東側に位置する畑である。
B	北本市野外活動センター	約 1,500m	東	計画地東側に位置する野外活動センターである。
C	高尾宮岡の景観地	約 1,700m	東	計画地東側に位置する景観地である。
D	高尾さくら公園	約 1,530m	東北東	計画地東北東側に位置する公園である。
E	北本水辺プラザ公園	約 1,280m	東	計画地東側に位置する公園である。
F	さくら堤公園	約 775m	北北西	計画地北北西側に位置する公園である。
G	東部緑地公園	約 5.7 m	南	計画地南側に位置する公園である。
H	北本市子供公園	約 2,250m	南東	計画地南東側に位置する公園である。
I	北本自然観察公園	約 1,750m	東南東	計画地東南東側に位置する公園である。
J	平成の森公園	約 2,940m	南	計画地南側に位置する公園である。
K	石戸蒲ザクラ	約 2,540m	南東	計画地南東側に位置する東光寺境内にある蒲ザクラである。
L	城ヶ谷堤	約 1,700m	南東	計画地南東側に位置する堤である。
M	稲荷塚古墳群	約 1,900m	西南西	計画地西南西側に位置する古墳群である。
N	鳥羽井沼へら鮎釣場	約 1,560m	南	計画地南側に位置する鮎釣場である。
O	さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道	—	—	計画地周辺に位置するサイクリングコースである。
P	川島こども動物自然公園自転車道	—	—	計画地周辺に位置するサイクリングコースである。



【凡例】

- 計画地
- 計画地から 3km
- 行政界
- A ~ P 人と自然とのふれあいの場
- 人と自然とのふれあいの場(サイクリングコース)

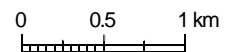


図 9.13-1 自然とのふれあいの場の調査地点

#### (4) 調査期間・頻度

##### (a) 既存資料調査

既存資料の調査期間・頻度は、入手可能な最新年とした。

##### (b) 現地調査

季節変化を把握するため、4季(春季、夏季、秋季、冬季)に各1回とした。

現地調査期間は、表 9.13-2 に示すとおりである。

自然とのふれあいの場の利用状況を把握するため、週末の土曜日に調査を行った。

表 9.13-2 調査期間(現地調査)

調査項目		調査期間
自然との ふれあいの場	資源状況	夏季:平成 29 年 8 月 19 日(土)
	周辺環境の状況	秋季:平成 29 年 11 月 11 日(土)
	利用状況	冬季:平成 30 年 1 月 20 日(土)
	交通手段の状況	春季:平成 30 年 3 月 31 日(土)、5 月 24 日(木)

#### (5) 調査結果

##### (a) 自然とのふれあいの場の資源状況、周辺環境の状況等

###### (ア) 既存資料調査

自然とのふれあいの場の分布及び利用範囲の既存資料調査は、「第 3 章 地域特性、3.2 自然的状況、3.2.6 景観及び人と自然とのふれあいの場の状況」に示すとおりである。また、構成要素(自然、利用施設)の内容・特性、背景となる周辺環境の状況の既存資料調査は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

###### (イ) 現地調査

自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

表 9.13-3(1) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

<p>地点名</p>	<p>地点 A ポピーハッピースクエア</p>
<p>自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況</p>	
<p>12.5haの敷地に約3,000万本のポピーが栽培されている日本一広い畑である。荒川河川敷へのごみの不法投棄防止と「花のまちこうのす」をアピールすることを目的として整備された。特に春には「ポピー祭り」が開催され、毎年大勢の人々が訪れるポピー畑は荒川の御成橋下に広がり、天気の良い日には富士山を望むことができる。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：12.5ha      利用時間：終日      休日：無し      施設・設備：ポピー畑</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：300台（ポピーまつり開催時期のみ臨時駐車場有り） 平日は無料、休日は協賛金として500円</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：移動（自動車、自転車、徒歩）、景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR高崎線鴻巣駅 バス：JR高崎線鴻巣駅西口よりバスで10分 鴻巣市コミュニティバスフラワー号馬室コース 「給食センター前」バス停下車後、徒歩3分 ポピーまつりの土日のみ無料シャトルバス有り 徒歩：JR高崎線鴻巣駅西口より徒歩20～30分（約2.2km）</p>	
<p>【調査結果】</p>	
<p>&lt;春季調査&gt;</p> 	<p>&lt;夏季調査&gt;</p> 
<p>&lt;秋季調査&gt;</p> 	<p>&lt;冬季調査&gt;</p> 

表 9.13-3(2) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 B 北本市野外活動センター
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>野外活動や体験学習などを通して、市民の生涯活動、レクリエーション活動の推進及び健康増進を目的として建設された。平成 30 年 4 月にリニューアルオープンした。野外活動センターと周辺 3 施設(高尾さくら公園、高尾阿弥陀堂ふるさとの森、高尾宮岡の景観地)を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:約 2.71ha      利用時間:8:30~22:00      休日:第 4 月曜(祝日の場合は翌日) 施設・設備:芝生広場、展望広場、テントサイト、野外炊事場、体験学習室、多目的ホール、多目的広場、入浴施設、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:56 台、バス 2 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、学生、観光客 利用目的:バーベキュー、テント宿泊、レクリエーション、発表会、会合、陶芸、体験学習など 利用者数:平成 29 年度:約 35,000 人</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 衛生研究所・荒川荘行きバスで 10 分 「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 8 分</p>	
【調査結果】	
<p>&lt; 春季調査 &gt;</p> 	<p>&lt; 夏季調査 &gt;</p> 
<p>&lt; 秋季調査 &gt;</p> 	<p>&lt; 冬季調査 &gt;</p> 

表 9.13-3(3) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 C 高尾宮岡の景観地
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>大宮台地の浸食により形成された谷津とそれを取り囲む斜面林からなり、2ヶ所の湧水がある里山景観である。この周辺の縄文時代の遺跡からは、土偶や耳飾りなどが出土した。埼玉の優れた自然を後世に残すため、「緑のトラスト保全地」に指定された。高尾宮岡の景観地と周辺3施設（野外活動センター、高尾さくら公園、高尾阿弥陀堂ふるさとの森）を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。平成20年4月に散策路が整備された。</p> <p>〔資源状況〕                  敷地面積：3.55ha      利用時間：終日      休日：無し      施設・設備：景観地</p> <p>〔周辺環境状況〕                  駐車場：駐車場：56台、バス2台（北本市野外活動センターを利用する。）</p> <p>〔利用状況〕                  利用者属性：地域住民、観光客                  利用目的：景観の眺望、写真撮影、散策など</p> <p>〔交通手段〕                  電車：JR 高崎線北本駅                  バス：JR 高崎線北本駅西口より                        川越観光自動車 北里大学メディカルセンター・石戸蒲ザクラ入口行きバスで6分                        「石戸小学校入口」バス停下車後、徒歩15分</p>	
<b>【調査結果】</b>	
< 春季調査 > 	< 夏季調査 > 
< 秋季調査 > 	< 冬季調査 > 



表 9.13-3(4) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 D 高尾さくら公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>広々とした芝生地に、全国各地から集められた桜を含め、約 30 種、200 本の桜が植えられている公園である。11 月にコブクザクラ、3 月下旬にエドヒガンが咲き始める。ソメイヨシノやヤマザクラが咲き揃う 4 月上旬頃、毎年さくらまつりが開催される。高尾さくら公園と周辺 3 施設（野外活動センター、高尾阿弥陀堂ふるさとの森、高尾宮岡の景観地）を一体としたエリアを「まほろばの郷」と呼ぶ。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：2.60ha      利用時間：終日      休日：無し 施設・設備：桜、ふるさとさくらの丘、モニュメント広場、自然ふれあいの池、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：140 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影、探勝、休憩など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 高崎線北本駅 バス：JR 高崎線北本駅西口より ①衛生研究所・荒川荘行きバスで 10 分 「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 5 分 ②道の駅行きバス（吉見町巡回バスけやき号 1 日 4 本）で 3 分 「北本市高尾さくら公園」バス停下車後、徒歩 5 分</p>	
【調査結果】	
＜春季調査＞	＜夏季調査＞
	
＜秋季調査＞	＜冬季調査＞
	

表 9.13-3(5) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

<p>地点名</p>	<p>地点 E 北本水辺プラザ公園</p>
<p>自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況</p>	
<p>北本市荒川地区の荒川河川敷を整備して平成 24 年に整備された公園である。広々とした芝生、江戸時代に荒川舟運で栄えた頃の荒川の流れを再現した旧流路体験水路、多目的広場、散策路がある。トイレや水飲み場も整備されているため、幅広い世代の人がのんびり過ごすのに適している。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:4.13ha      利用時間:4～9月 8:00～18:00    10～3月 8:00～17:00 休日:第4月曜(祝日の場合は翌日)、12月28日～翌年1月3日 施設・設備:多目的広場、園路、芝生スロープ、旧流路体験水路、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:70台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民 利用目的:景観の眺望、休憩、運動、散策など</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より           衛生研究所・荒川荘行きバスで 10分           「野外活動センター入口」バス停下車後、徒歩 5分</p>	
<p>【調査結果】</p>	
<p>&lt; 春季調査 &gt;</p>	<p>&lt; 夏季調査 &gt;</p>
	
<p>&lt; 秋季調査 &gt;</p>	<p>&lt; 冬季調査 &gt;</p>
	

表 9.13-3(6) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 F さくら堤公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>ふるさと歩道の設置とともに植えられた約 1.8km の桜堤である。秋ヶ瀬公園(さいたま市)と森林公園(滑川町)を結ぶサイクリングコースが並走している。春には桜のトンネルができあがり、その周りには菜の花が咲く。</p> <p>〔資源状況〕                  距離:1.80km      利用時間:終日      休日:無し      施設・設備:桜堤、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕                  駐車場:100 台(町営駐車場)</p> <p>〔利用状況〕                  利用者属性:地域住民、観光客                  利用目的:移動(自転車、徒歩)、景観の眺望、写真撮影、探勝など</p> <p>〔交通手段〕                  電車:東武東上線川越駅                  バス:東武東上線川越駅東口より                        東武バス 鴻巣免許センター行きバスで 40 分                        「荒子」バス停下車後、徒歩 15 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 > 	< 夏季調査 > 
< 秋季調査 > 	< 冬季調査 > 

表 9.13-3(7) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 G 東部緑地公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>9H で 423m のゴルフが無料でできるパークゴルフコースや、ゲートボールが 4 面分できるグラウンド、野球・ソフトボールができるグラウンドが整備されている公園である。吉見町で行われるパークゴルフ大会やゲートボール大会などの開催場所としても利用されている。</p> <p>〔資源状況〕                  敷地面積：2.20ha      利用時間：8:30～17:00      休日：月曜                  施設・設備：パークゴルフコース、グラウンド、野球場、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕                  駐車場：75 台</p> <p>〔利用状況〕                  利用者属性：地域住民                  利用目的：グラウンドゴルフ、ゲートボール、野球、休憩、運動など</p> <p>〔交通手段〕                  電車：JR 高崎線北本駅                  バス：JR 高崎線北本駅西口より                          衛生研究所・荒川荘行きバスで 18 分                          「荒川荘」バス停下車後、徒歩 2 分</p>	
<b>【調査結果】</b>	
< 春季調査 > 	< 夏季調査 > 
< 秋季調査 > 	< 冬季調査 > 

表 9.13-3(8) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 H 北本市子供公園
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>緑豊かな自然の中に遊具、ふわふわドーム、ローラー滑り台など、子供のことを考えて整備された公園である。4～9月には小さな滝や川、じゃぶじゃぶ池などで水遊びができる。動物舎があり、クジャクやアヒル、サル、ウサギ、リスなどを見ることができる。児童館が併設されており、雨の日や赤ちゃんがいる方でも過ごしやすい。園内にはソメイヨシノが植えられている。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積:2.84ha      利用時間:4～9月 9:00～17:30    10～3月 9:00～16:30 休日:第4月曜(祝日の場合は翌日)、12月26日～翌年1月4日 施設・設備:遊具、ふわふわドーム、ローラー滑り台、せせらぎ、野外ステージ、サイクリングロード、動物舎、児童館、図書室、トイレ、管理事務所、売店(土日祝、春休み期間、夏休み期間のみの営業)</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場:80台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:休憩、運動など</p> <p>〔交通手段〕 電車:JR 高崎線北本駅 バス:JR 高崎線北本駅西口より 石戸蒲ザクラ入口行きバスで15分 「石戸蒲ザクラ入口」バス停車後、徒歩4分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	



表 9.13-3(10) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

<p>地点名</p>	<p>地点 J 平成の森公園</p>
<p>自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況</p>	
<p>個性豊かで魅力ある「ふるさと文化の香るまち」の実現のため、町が宣言している「スポーツ都市」や「生涯学習推進のまち」の趣旨に沿った、だれもが憩える空間（レクリエーションの拠点）として、環境づくりにも配慮して整備された公園である。川島町のほぼ中央にあり、四方を川に囲まれた川島町をイメージして作られている。昭和 63 年に国が提唱した「ふるさと創生事業」の一環として、広く住民からアイデアを募集した結果、公共施設の集中しているコミュニティセンター周辺と一体化した公園を建設することに決まった。平成元年に計画が決まったことから「平成の森」と名付けられ、平成 8 年にオープンした。</p> <p>〔資源状況〕 敷地面積：8.38ha      利用時間：8:30～21:00      休日：無し 施設・設備：多目的広場、記念樹林、ちびっこ広場、出会いの広場、水と時の広場、芝生広場、丘の家、アスレチックコーナー、修景池・古代ハス、ショウブ園、バラの小径、ランニングコース、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕 駐車場：170 台</p> <p>〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕 電車：JR 川越線川越駅 バス：JR 川越線川越駅東口より 東武バスウエスト鴻巣免許センター行きバスで 22 分 「川島農協前」バス停下車後、徒歩 20 分</p>	
<p>【調査結果】</p>	
<p>&lt; 春季調査 &gt;</p> 	<p>&lt; 夏季調査 &gt;</p> 
<p>&lt; 秋季調査 &gt;</p> 	<p>&lt; 冬季調査 &gt;</p> 

表 9.13-3(11) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 K 石戸蒲ザクラ
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>埼玉県北本市石戸宿にある東光寺の境内にて生育している桜である。樹齢 800 年といわれ、日本五大桜として大正 11 年(1922 年)10 月 12 日に国の指定を受けた天然記念物である。樹種は和名で「カバザクラ」という世界でただ 1 本の品種で、エドヒガンとヤマザクラの自然雑種と考えられており、毎年 4 月 10 日前後に白く可憐な花を咲かせる。</p> <p>〔資源状況〕                  樹高:約 12m      利用時間:終日      休日:無し      施設・設備:蒲桜、東光寺</p> <p>〔周辺環境状況〕                  駐車場:120 台</p> <p>〔利用状況〕                  利用者属性:地域住民、観光客                  利用目的:景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕                  電車:JR 高崎線北本駅                  バス:JR 高崎線北本駅西口より                        北里大学メディカルセンター行きバスで 15 分                        「自然観察公園前」バス停下車後、徒歩 5 分</p>	
<b>【調査結果】</b>	
< 春季調査 > 	< 夏季調査 > 
< 秋季調査 > 	< 冬季調査 > 



表 9.13-3(12) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 L 城ヶ谷堤
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
江戸時代に付近の田畑を水害から守るために築かれた。現在は約 60 本のソメイヨシノがあり、毎年 4 月上旬に桜のトンネルを作る。	
〔資源状況〕	
距離: 約 150m	利用時間: 終日      休日: 無し      施設・設備: 桜堤、トイレ
〔周辺環境状況〕	
駐車場: 100 台	
〔利用状況〕	
利用者属性: 地域住民、観光客	
利用目的: 景観の眺望、写真撮影など	
〔交通手段〕	
電車: JR 高崎線北本駅	
バス: JR 高崎線北本駅西口より 北里大学メディカルセンター行きバスで 15 分 「自然観察公園前」バス停下車後、徒歩 15 分	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(13) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 M 稲荷塚古墳群
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>埼玉県川島町にある古墳群であり、市野川の自然堤防上、下小見野地区に形成された。かつては十数基の古墳が所在したと伝えられている。現在は稲荷塚古墳のみが現存し、稲荷塚古墳も墳丘の3分の2が削平されている。昭和44年(1969年)10月1日、埼玉県選定重要遺跡に指定された。</p> <p>〔資源状況〕                  利用時間:終日            休日:無し            施設・設備:古墳</p> <p>〔周辺環境状況〕                  駐車場:無し</p> <p>〔利用状況〕                  利用者属性:地域住民、観光客                  利用目的:景観の眺望、写真撮影など</p> <p>〔交通手段〕                  車:首都圏中央連絡自動車道川島ICから約20分</p>	
<b>【調査結果】</b>	
<春季調査> 	<夏季調査> 
<秋季調査> 	<冬季調査> 

表 9.13-3(14) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 N 鳥羽井沼へら鮎釣場
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
<p>鳥羽井沼自然公園内にある鮎釣場である。「自然公園の池」は全席に釣り台が整備されており、手軽にへらブナ釣りが楽しめる。釣れるへらブナの型は 20～27cm 前後が中心である。すぐ隣に「管理釣り場の鳥羽井沼」もあり、毎年秋から冬場に大型の新べらを放流しているため良型のへらが多く、例会等の開催にも向いている。</p> <p>〔資源状況〕          水深:「自然公園の池」 1.5～3m 「管理釣り場の鳥羽井沼」 2～3m          利用時間:4～9月 5:00～18:00 10～3月 6:00～17:00 休日:無し          施設・設備:鮎釣場、売店、トイレ</p> <p>〔周辺環境状況〕          駐車場:150 台以上</p> <p>〔利用状況〕          利用者属性:地域住民          利用目的:鮎釣など          利用料金:「自然公園の池」 大人 800 円、子供 500 円          「管理釣り場の鳥羽井沼」 大人 2,000 円、中学生以下割引料金あり</p> <p>〔交通手段〕          車:首都圏中央連絡自動車道川島 IC から約 10 分</p>	
【調査結果】	
< 春季調査 >	< 夏季調査 >
	
< 秋季調査 >	< 冬季調査 >
	

表 9.13-3(15) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 O さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
[資源状況] 距離:45.6km      利用時間:終日      休日:無し      施設・設備:サイクリングロード [利用状況] 利用者属性:地域住民、観光客 利用目的:移動(自転車、徒歩)、景観の眺望、写真撮影、探勝など	
<b>【調査結果】</b>	
<春季調査> 	<夏季調査> 
<秋季調査> 	<冬季調査> 

表 9.13-3(16) 自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況、利用状況

地点名	地点 P 川島こども動物自然公園自転車道
自然とのふれあいの場の資源状況及び周辺環境の状況	
〔資源状況〕 距離：12.8km      利用時間：終日      休日：無し      施設・設備：サイクリングロード 〔利用状況〕 利用者属性：地域住民、観光客 利用目的：移動（自転車、徒歩）、景観の眺望、写真撮影、探勝など	
【調査結果】 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;春季調査&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;夏季調査&gt;</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;秋季調査&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;冬季調査&gt;</p>  </div> </div>	

(b) 自然とのふれあいの場の利用状況

(ア) 既存資料調査

自然とのふれあいの場の利用状況の既存資料調査は表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

(イ) 現地調査

自然とのふれあいの場の利用状況は表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

本事業の実施に伴い直接または間接的な影響を受ける可能性がある東部緑地公園において、利用状況調査を図 9.13-2 に示す地点で行った。東部緑地公園の駐車車両台数は表 9.13-4 に、利用状況は表 9.13-5(1)～(2)に示すとおりである。

また、さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道及び川島こども動物自然公園自転車道において、自転車交通量調査を図 9.13-3 に示す地点で行った。サイクリングロードの自転車交通量は、表 9.13-6 に示すとおりである。



図 9.13-2 東部緑地公園の調査地点

表 9.13-4 東部緑地公園の駐車車両台数

調査期間	調査時間	車両台数	備考
春季:平成 30 年 3 月 31 日(土)	9:00	4 台	—
	11:00	7 台	
	13:00	11 台	
	15:00	7 台	
	17:00	3 台	
夏季:平成 29 年 8 月 19 日(土)	9:00	13 台	—
	11:00	12 台	
	13:00	9 台	
	15:00	10 台	
	17:00	0 台	
秋季:平成 29 年 11 月 11 日(土)	9:00	72 台	町内ゴルフ大会
	11:00	74 台	
	13:00	75 台+路上駐車 6 台	
	15:00	28 台	
	17:00	0 台	
冬季:平成 30 年 1 月 20 日(土)	9:00	19 台	—
	11:00	26 台	
	13:00	22 台	
	15:00	27 台	
	17:00	3 台	

表 9.13-5(1) 東部緑地公園の利用状況(春季、夏季)

調査期間	調査地点	調査時間	利用者数	利用状況
春季:平成 30 年 3 月 31 日(土)	パークゴルフコース	9:00	0 人	使用禁止
		11:00	0 人	
		13:00	0 人	
		15:00	0 人	
		17:00	0 人	
	野球場	9:00	0 人	—
		11:00	0 人	
		13:00	0 人	野球
		15:00	6 人	
		17:00	0 人	
	西側草地	9:00	6 人	ゲートボール
		11:00	6 人	
		13:00	0 人	—
		15:00	0 人	
		17:00	0 人	
夏季:平成 29 年 8 月 19 日(土)	パークゴルフコース	9:00	2 人	グラウンドゴルフ
		11:00	1 人	
		13:00	4 人	
		15:00	4 人	
		17:00	1 人	
	野球場	9:00	7 人	グラウンドゴルフ
		11:00	11 人	グラウンドゴルフ
		13:00	0 人	—
		15:00	5 人	グラウンドゴルフ
		17:00	0 人	—
	西側草地	9:00	1 人	グラウンドゴルフ
		11:00	1 人	
		13:00	0 人	—
		15:00	4 人	グラウンドゴルフ
		17:00	0 人	—



表 9.13-5(2) 東部緑地公園の利用状況(秋季、冬季)

調査期間	調査地点	調査時間	利用者数	利用状況
秋季:平成 29 年 11 月 11 日(土)	パークゴルフコース	9:00	47 人	グラウンドゴルフ
		11:00	51 人	
		13:00	12 人	
		15:00	10 人	
		17:00	0 人	—
	野球場	9:00	48 人	グラウンドゴルフ
		11:00	36 人	—
		13:00	0 人	—
		15:00	13 人	グラウンドゴルフ
		17:00	0 人	—
	西側草地	9:00	20 人	グラウンドゴルフ
		11:00	31 人	—
		13:00	0 人	—
		15:00	0 人	駐車 1 台
		17:00	0 人	
冬季:平成 30 年 1 月 20 日(土)	パークゴルフコース	9:00	12 人	グラウンドゴルフ
		11:00	24 人	
		13:00	10 人	
		15:00	15 人	
		17:00	0 人	—
	野球場	9:00	4 人	グラウンドゴルフ
		11:00	5 人	
		13:00	6 人	
		15:00	22 人	
		17:00	2 人	
	西側草地	9:00	9 人	グラウンドゴルフ
		11:00	10 人	
		13:00	3 人	
		15:00	5 人	
		17:00	0 人	—



図 9.13-3 サイクリングロードの調査地点

表 9.13-6 サイクリングロードの自転車交通量

調査期間	調査時間	地点 O さいたま武蔵丘陵 森林公園自転車道		地点 P 川島こども動物自然 公園自転車道	
		北西方向	北東方向	北東方向	北西方向
春季:平成 30 年 3 月 31 日(土)	9:00~10:00	44	99	9	8
	10:00~11:00	63	129	16	10
	11:00~12:00	84	112	8	10
	12:00~13:00	107	124	10	6
	13:00~14:00	93	60	14	10
	14:00~15:00	66	71	10	8
	15:00~16:00	59	33	6	6
	16:00~17:00	28	15	4	6
夏季:平成 29 年 8 月 19 日(土)	9:00~10:00	10	11	1	1
	10:00~11:00	24	26	1	3
	11:00~12:00	21	14	0	1
	12:00~13:00	20	12	2	2
	13:00~14:00	21	14	3	3
	14:00~15:00	17	12	2	2
	15:00~16:00	6	4	4	4
	16:00~17:00	6	4	2	4
秋季:平成 29 年 11 月 11 日(土)	9:00~10:00	21	10	5	7
	10:00~11:00	28	17	3	7
	11:00~12:00	35	24	2	4
	12:00~13:00	11	22	4	12
	13:00~14:00	19	22	8	3
	14:00~15:00	11	23	3	1
	15:00~16:00	3	21	1	1
	16:00~17:00	1	10	0	1
冬季:平成 30 年 1 月 20 日(土)	9:00~10:00	11	44	3	1
	10:00~11:00	30	14	1	8
	11:00~12:00	36	25	2	7
	12:00~13:00	17	15	3	6
	13:00~14:00	42	13	4	5
	14:00~15:00	23	16	3	3
	15:00~16:00	14	15	7	2
	16:00~17:00	8	4	0	4

(c) 自然とのふれあいの場への交通手段の状況

(ア) 既存資料調査

i) 自然とのふれあいの場への主な交通手段

自然とのふれあいの場への主な交通手段の既存資料調査は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

ii) 交通手段の経路周辺の環境条件

交通手段の経路周辺の環境条件の既存資料調査は、表 9.13-3(1)～(16)に示すとおりである。

(d) その他の予測・評価に必要な事項

(ア) 既存資料調査

i) 周辺地域の土地利用の状況

周辺地域の土地利用の状況の既存資料調査は、「第3章 地域特性、3.1 社会的状況、3.1.2 土地利用の状況」に示すとおりである。

ii) 交通網の状況

交通網の状況の既存資料調査は、「第3章 地域特性、3.1 社会的状況、3.1.4 交通の状況」に示すとおりである。

### 9.13.2 予測

#### (1) 工事の実施による自然とのふれあいの場への影響

##### (a) 予測内容

工事の実施による自然とのふれあいの場の利用環境の変化の程度、自然とのふれあいの場への交通手段の阻害のおそれの有無及びその程度を予測した。

##### (b) 予測方法

自然とのふれあいの場の現況調査結果と、工事中の他の項目の予測結果、工事計画の内容を重ね合わせるにより、定性的に予測した。

##### (c) 予測地域・地点

予測地域・地点は、現地調査の調査地域・地点と同様とした。

##### (d) 予測時期等

工事中の自然とのふれあいの場への影響が最大となる時期を適宜選定した。

##### (e) 予測結果

###### (ア) 自然とのふれあいの場の利用環境の変化

現地調査の結果、全地点において工事の実施による直接または間接的な影響を受けないと考えられるため、工事の実施による自然とのふれあいの場の利用環境への影響は小さいと予測された。

建設機械の稼働に伴う排出ガスの将来予測濃度(日平均値または年平均値)は、環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

建設機械の稼働に伴う降下ばいじんの将来予測濃度は、環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

建設機械の稼働に伴う騒音の将来予測騒音レベルは、計画地敷地境界で 72dB～79dB と予測され、全地点において環境保全目標(騒音)に適合する結果であった。

建設機械の稼働に伴う振動の将来予測振動レベルは、計画地敷地境界で 62dB～69dB と予測され、全地点において環境保全目標(振動)に適合する結果であった。

以上のことから、工事の実施による自然とのふれあいの場の利用環境への影響は小さいと予測された。

###### (イ) 自然とのふれあいの場への交通手段の阻害のおそれ

資材運搬等の車両の走行に伴う自然とのふれあいの場への利用阻害については、工事用車両の主な走行ルート(東松山桶川線)に、さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道(サイクリングコース)が交差する地点があり、自転車利用者がこれらの道路を横断す

る。また、現地調査の結果、道路を横断する自転車交通量はおおむね9～16時台が多くなっている。一方、同時帯における東松山桶川線の断面交通量は約 6,000 台であり、工事計画による資材運搬等の車両の走行台数は最大で大型車 36 台程度を想定していることから、現況に大きな変化はなく、工事の実施による自然とのふれあいの場への交通手段の阻害への影響は小さいと予測された。

資材運搬等の車両の走行に伴う排出ガスの将来予測濃度(日平均値または年平均値)は、全項目について環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

資材運搬等の車両の走行に伴う降下ばいじんの将来予測濃度は、環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

資材運搬等の車両の走行に伴う騒音の将来予測騒音レベルは、現況騒音レベルが既に環境基準と同じ値の地点があったものの、環境保全目標(騒音)に適合する結果であった。

資材運搬等の車両の走行に伴う振動の将来予測振動レベルは、全地点において環境保全目標(振動)に適合する結果であった。

以上のことから、工事の実施による自然とのふれあいの場への交通手段の阻害への影響は小さいと予測された。

## (2) 施設の存在及び稼働による自然とのふれあいの場への影響

### (a) 予測内容

施設の存在及び施設の稼働による自然とのふれあいの場の利用環境の変化の程度を予測した。

### (b) 予測方法

自然とのふれあいの場の現況調査結果と、供用時の他の項目の予測結果、事業計画の内容を重ね合わせるにより、定性的に予測した。

### (c) 予測地域・地点

予測地域・地点は、現地調査の調査地域・地点と同様とした。

### (d) 予測時期等

ごみ処理施設及び付帯施設の稼働が定常状態となる時期とした。

### (e) 予測結果

現地調査の結果、現在も全地点において現有施設の存在及び稼働による直接または間接的な影響を受けていないと考えられるため、施設の存在及び稼働による自然と

のふれあいの場への影響は小さいと予測された。

施設の稼働に伴う排出ガスの将来予測濃度(日平均値または年平均値)は、全項目について環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

施設の稼働に伴う粉じんは、環境保全目標(大気質)に適合する結果であった。

施設の稼働に伴う騒音の将来予測騒音レベルは、現況騒音レベルが既に規制基準及び環境基準を超過している時間帯があったものの、環境保全目標(騒音)に適合する結果であった。

施設の稼働に伴う振動の将来予測振動レベルは、全地点において環境保全目標(振動)に適合する結果であった。

煙突排出ガスによる悪臭(臭気指数)は、環境保全目標(悪臭)に適合する結果であった。

施設から漏洩する臭気は、悪臭の漏洩防止対策の実施、徹底を図る計画であり、環境への影響は極めて小さくなることから、環境保全目標(悪臭)に適合する結果であった。

以上のことから、施設の存在及び稼働による自然とのふれあいの場の利用環境への影響は小さいと予測された。

### 9.13.3 評価

#### (1) 工事の実施による自然とのふれあいの場への影響

##### (a) 評価方法

##### (ア) 影響の回避・低減の観点

自然とのふれあいの場への影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、または低減されているかどうかを明らかにした。

##### (イ) 基準・目標等との整合の観点

基準・目標等との整合性の検討については、国、埼玉県または関係市町により環境保全に係る基準値や目標等が示されている場合には、それらを環境の保全上の目標として設定し、基準値や目標等が無い場合には、その他の環境の保全上の目標を設定して予測結果との間に整合が図られているかどうかを明らかにした。

自然とのふれあいの場に関しては、埼玉県環境基本計画(第4次)(平成29年3月、埼玉県)及び彩の国豊かな自然環境づくり計画(平成11年3月、埼玉県)において、今後の施策や目標等が表9.13-7のとおり示されている。

このことから、自然とのふれあいの場に係る環境保全目標は、「自然とのふれあいの場の利用に支障を及ぼさないこと」とした。

表 9.13-7 自然とのふれあいの場に係る関係計画等

関係計画等	内 容
埼玉県環境基本計画 (第4次) (平成29年3月、埼玉県)	【今後の施策と主な取組】 ・身近な緑の保全の推進 ・身近な緑の再生(創出)の推進 ・自然とのふれあいの推進
彩の国豊かな自然環境づくり 計画 (平成11年3月、埼玉県)	【目標】 豊かな自然環境を満喫できる場所から、日常的にふれあえる場所まで、 自然とのふれあいの内容に応じた自然環境の整備に取り組む。

(b) 環境の保全に関する配慮方針

- ① 工事用車両の運行は、原則として日曜以外の午前8時～午後5時とする。
- ② 車両運転手に対し、交通規則の遵守、安全運転等に関する指導及び監督を行う。
- ③ 工事用車両の運行が集中しない工事計画とする。
- ④ 工事用車両の走行により近接する自然とのふれあいの場の利用を妨げないよう配慮した走行経路での運行に努めるよう指導する。

(c) 評価結果

(ア) 影響の回避・低減の観点

事業の実施にあたっては、環境の保全に関する配慮方針に示すとおり、工事用車両の運行方法や運行計画に十分配慮することにより、工事の実施による自然とのふれあいの場への影響は低減されると評価した。

(イ) 基準・目標等との整合の観点

自然とのふれあいの場への直接的な影響として、工事の実施に伴う建設機械による排出ガス、粉じん、騒音、振動、悪臭があげられるが、これらの予測結果は全て各項目ごとに設定した環境保全目標に適合する結果であった。

また、環境の保全に関する配慮方針に示すとおり、工事用車両の運行が集中しない工事計画とすることや近接する自然とのふれあいの場の利用を妨げないよう配慮した走行経路での運行に努めることにより、工事の実施による自然とのふれあいの場への影響は低減され、環境保全目標に適合すると評価した。



## (2) 施設の存在及び稼働による自然とのふれあいの場への影響

### (a) 評価方法

「(1) 工事の実施による自然とのふれあいの場への影響」と同様とした。

### (b) 環境の保全に関する配慮方針

- ① ごみ収集車両の運転手に対し、交通規則の遵守、安全運転等に関する指導、監督及び啓発を行う。
- ② ごみ収集車両の運行が集中しない収集計画とする。
- ③ ごみ収集車両の走行により近接する自然とのふれあいの場の利用を妨げないよう配慮した収集ルートを設定する。
- ④ ごみ処理施設供用時の大気汚染防止計画及び悪臭防止計画等の環境保全対策を確実に実行し、近接する自然とのふれあいの場の利用を妨げないとともに、周辺環境との調和に十分配慮した施設運営を行う。

### (c) 評価結果

#### (ア) 影響の回避・低減の観点

事業の実施にあたっては、環境の保全に関する配慮方針に示すとおり、ごみ収集車両の運行方法や運行計画に十分配慮することにより、施設の存在及び稼働による自然とのふれあいの場への影響は低減されると評価した。

#### (イ) 基準・目標等との整合の観点

自然とのふれあいの場への直接的な影響として、施設の存在及び稼働による排出ガス、騒音、振動、悪臭があげられるが、これらの予測結果は全て各項目ごとに設定した環境保全目標に適合する結果であった。

また、環境の保全に関する配慮方針に示すとおり、周辺環境との調和を図るため、ごみ処理施設供用時の大気汚染防止計画及び悪臭防止計画等の環境保全対策を確実に実行することにより、施設の存在及び稼働による自然とのふれあいの場への影響は低減され、環境保全目標に適合すると評価した。